



ワクワク、ドキドキ、
とっておきの
夏がある

こんにちは、武司です。今日は、友だちのミツル君と彼の妹のアヤカちゃんと3人で、東武動物公園に行ってきました。プールも楽しみでしたが、なんといってもホワイトタイガーの赤ちゃんが、やんちゃ盛りらしく可愛かったです。とりわけ、獣医を目指しているアヤカちゃんは感激！（MAPの①）

今回の登場人物



業平武司
業平家の長男で、おすまの弟。サッカーと鉄道も愛する高校生。



塚田ミツル
中学時代からの武司の親友。映画と電車が趣味。将来の夢は報道カメラマン。



塚田アヤカ
ミツルの妹。動物が大好きな中学生。獣医さんになるのが夢。



東武スカイツリーラインの「東武動物公園駅」。東武日光線の起点でもあります。明治32年に「杉戸駅」として開業。昭和56年の東武動物公園開園にともない、駅名を改称しました。

いま、東武動物公園で一番の人気者といえば、ホワイトタイガーの四つ子たち。揃って名前も決まり、わんぱくで可愛い盛りを迎えました。でも、お楽しみはもつとある！遊園地ゾーンでは新しいアトラクションも誕生しますし、プールでは様々なアイデアで夏のウォーターレジャーを彩ります。夜のイベントには、夕涼みイルミネイト、や、花火イリュージョン、まである演出。さあ、歓声が聞こえてきませんか？ ココロとカラダの夏休みが待っています。

東武動物公園（とうぶどうぶく）
（こうえん）



プールの中を気持ちよさそうに、フンボルトペンギンが泳いでいます。横からも上からも、間近にペンギンの泳ぐ姿が見られます。ぼくたちも、早く泳ぎたい！アルパカのいる「ふれあひ動物の森」も大人気でした。(MAPの㉔)



ホワイトタイガーを真っ先に見に行けたぼくたちは、まずは動物園ゾーンを見学。ここは「わんこウレッシ」の横にあった「カブトの森」。カブトムシの採取体験や、近くの池ではザリガニ釣りも楽しめましたよ。(MAPの㉕)



ランチのあとは、新しくできた「ハートフルファーム」へ。トラクターの乗り物や汽車が野菜畑を走ります。キャラクターたちも可愛い！これは「エマさんのチーズ風車」。マップにきたら東京スカイツリー®を探してみよう！(MAPの㉖)



アトラクションにも乗りたい！まずは、水上木製コースターのレジャーで大絶叫。わくわくの落下体験が味わえるG-max。そして夏ならではのアトラクション、お化け屋敷はアヤカちゃんがいちばん平気そうでした。(MAPの㉗)

日常からちょっと離れて 見どころいっぱい動物園ゾーンへ

「東武動物公園」は、動物園と遊園地とプールが融合したハイブリッド・レジャーランド。緑と水に囲まれた園内は見どころ満載ですが、まず訪れてみたいのは、「ホワイトタイガー」ファミリールームが住む動物園ゾーンです。話題の赤ちゃんたちが、一般公募による名前が決まったばかり（男の子がスカイ、アクア、アース、女の子は飼育係さんの命名でサンと決まりました。それぞれが可愛いだけでなく、甘えん坊とか独立心旺盛派とか、個性も芽生えて、そこがまた面白い！アイスプールの瞳が神秘的なお母さん（カーラ）や、ゴロ寝好きなお父さん（ロッキー）にもご挨拶。人権ならぬ虎権に配慮しつつ、温かい友情を結びましょう。ホワイトタイガーはベンガルトラの白変種。世界でも稀有な存在で、インドでは「神の使い」と信じられたほどとか。たしかに見ているだけで幸せを運んでくれそう。

さて次は、どの動物たちに会いましょうか？たとえば「ペンギン舎」では、トコトコ歩いたり水中で遊びまわる大小様々なペンギンと一緒に、彼らの大地に立つて間近で観察できます。「アフリカゾウ」の所では、お昼頃にけば、珍しいランチタイムに立ち会うことができるかも。

こうした参加型コーナーでは、「カブトの森」も興味深い。これは毎年夏季限定で登場するスポットで、カブトムシの宝庫です。採取体験にトライしたり、貴重な展示に学んだりできます。小川が流れる里山空間ですから、ザリガニ釣りも是非どうぞ。夏休みに絶好の穴場ですよ。



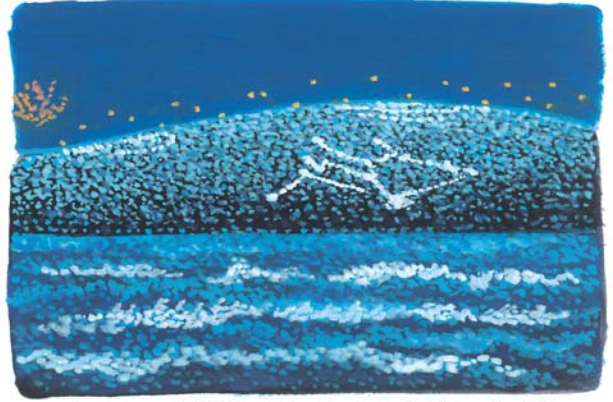
キッズたちは、「じゃぶじゃぶアドベンチャー」や「親子スライダー」に夢中です。この「バケツスプラッシュ」も大人気。5分ごとに大量の水が頭上に降り注ぎ、清涼感も満点。回転式滑り台や遊具もいっぱいありますよ。(MAPの⑤)



いよいよオープンしたての「東武スーパープール」へ。「スーパースライダー」や「急流すべり」「流れるプール」で存分に楽しみました。これは「ウェイブプール」。波もあって、まるで南国のビーチにいるような感じ！(MAPの⑥)



恒例の「花火イリュージョン」です。白鳥の池を舞台に、最新ヒット曲や懐かしの名曲と花火を組み合わせたエンターテインメントショー。約2000発の花火と、ライトアップされた幻想的な遊園地には、普段味わえない魅力が。



ぼくたちは体験しなかったけれど、夜のイベントもご紹介。これは「夕涼みイルミネイト」。トッピー広場を舞台にLEDの灯りで、海と夏の星座などを表現しているそうです。夏のイルミネーションなんて、珍しいですね。(MAPの④)

夏休み。充実した記憶が残ります。

夏休み。充実した記憶が残ります。

夏は醍醐味といえば、「東武スーパープール」は欠かせません。仕掛けやサイズも多彩に用意した、大きな水遊びパークといつていいでしょう。南国リゾートのような「ウェイブプール」は、その代表格。いい波が15分間おしよせるウェイブタイムは爽快で、まるで砂浜のようなビーチも魅力です。「じゃぶじゃぶアドベンチャー」は大型のキッズプールですが、大人たちまで童心に返れます。面白いのは「バケツスプラッシュ」で、頭上の大バケツからザバ〜と水が降り注ぐアイデアに、思わず歓声をあげてしまいます。

一方、遊園地ゾーンではすっかり馴染みになっている「レジーナ」がシンボル。この世界初の水上を走る木製コースターは、美しいフォルムといいスピード感といい傑作だと思います。新しいところでは、昨年誕生した「ハートフルファーム」もユニークなアトラクション。観覧車が「エマさんのチーズ風車」と名づけられているように、物語性のある優しさが新鮮です。ちなみにゴンドラも可愛いチーズの箱形をしますよ。さらに心臓に自信のある方には、「お化け屋敷」がお待ちかね。ゾクゾク体験もイイものです。

そして、気がつくくと夕暮れがせまる頃。東武動物公園では、「夕涼みイルミネイト」の幕が開きます。広場いっぱい煌めくイルミネーションは、夏の宵のファンタジー。さらに白鳥の池周辺から打ち上げられる「花火イリュージョン」は、花火と音楽で彩る華麗なフィナーレ。たっぷり1日の夏休み。充実した記憶が残ります。

波しぶきと戯れたり、
光と花火に興じたり…

東武動物公園データファイル

〈営業時間・休園日・交通〉・●●**営業時間**=基本的に平日9:30~17:00 / 土日9:30~17:30ですが、詳細は東武動物公園ホームページの「営業日カレンダー」でご確認ください ●●**休園日**=6月の月曜、12月~2月の月・火曜(祝日または小中学校が休日の場合は営業)、大晦日、元日 ●●**交通**=東武動物公園駅西口徒歩10分/バス5分(大人160円、子ども80円)*バスは冬季は運休

〈入園料・ワンデーパス・ライドパス〉・●●**入園料**=おとな(中学生以上)1500円/子ども(3歳以上)700円/シニア(60歳以上)1000円 ●●**ワンデーパス**(入園料+のりもの乗り放題+夏は「プール」)=おとな4800円/子ども3700円/シニア3700円 ●●**ライドパス**(すでに入園券をお持ちの方/のりもの乗り放題+夏は「プール」)=おとな3300円/子ども3000円/シニア2700円 ●●**のりもの回数券**(11枚)=1000円 ●●**のりもの券**(1枚)=100円

〈カブトの森〉・●●**期間**=7月20日(土)~8月31日(土)9:30~17:30 ●●**料金**=1名400円 *カブトムシの持ち帰りは別途料金が必要 ●●**内容**=カブトムシの採取体験、ザリガニ釣り、その他

〈東武スーパープール〉・●●**期間**=7月13日(土)~9月8日(日) ●●**プール入場券**(入園券+プール入場券)=おとな(中学生以上)2000円/子ども(3歳以上)1000円/シニア(60歳以上)1500円 *入園券をお持ちの方は、おとな・シニア1000円、子ども500円でご利用いただけます *入れ墨・タトゥー(シール類含む)をされた方の入場不可

〈夕涼みイルミネイト〉・●●**期間**=7月13日(土)~9月1日(日)の土日祝日 17:00~20:00 *荒天時、中止の場合あり

〈花火イリュージョン〉・●●**期間**=8月10日(土)・17日(土)・24日(土) 19:30~19:50 *荒天時は中止 ●●**有料席**=グループ席:4名3000円(マス席)/ペア席:2名1500円(マス席) *別途、入園料が必要 *コンビニでの事前販売

☎東武動物公園 0480-93-1200

http://www.tobuzoo.com/

東武動物公園

